

津奈木小学校

前列右より
江口ヒロ子先生 一年一組
太田 結花先生 一年二組
水本 幸三先生 二年一組
一川 清美先生 二年二組
吉川 成美先生 三年二組
中列右より
前田起代子先生 四年二組
田原 正和先生 四年一組
多田隈幸代先生 五年一組
永里 達也先生 五年二組
寺川 芳夫先生 六年一組
三浦 浩先生 六年二組

後列右より
菅原 節子先生 すみれ組
森 道子先生 栄養士
村田十五郎先生 理科専科
農頭 昭勝先生 事務
早川美津恵先生 養護
村上 昭子さん 庁務
村本 健二先生 教務
松村 誠也先生 教頭
元山 正昭先生 校長
田副 稔先生 三年一組
(現在入院中)



赤崎小学校



前列右より
高鷹 昭治先生 六年
遠山 隆先生 教頭
山下 益生先生 校長
寒川 正典先生 教務
四宮 宣二先生 三年
後列右より
平田 栄二先生 五年
辻 道さん 庁務
松崎佐和子先生 一年
亀井 文子先生 二年
田中 文子先生 養護
上村 秀樹先生 四年

町内各小中学校

私達の先生



津奈木小
元山正昭校長

このたびの異動で小学校時代
十ヶ月お世話になった津奈木小
学校に奉職する事ができ、身の
引き締る思いがしています。今
後は諸先輩の築かれた立派な基
礎を大切にしながら、全職員の一
共通理解を得て、学校と家庭と

地域社会が、がっちり手を結
び、津奈木の将来を背負う子供
さんの学力の向上と、二十一世
紀に生きる人間としての、心の
教育を、真心を尽して、推進す
るために、頑張りたいと思いま
す。

津奈木小
元山正昭校長

平国小学校



平国小学校
児童数九七名、職員数十二名
平成二年度は「文部省指定の勤労
生産学習」社会福祉協議会依頼の
ボランティア活動普及事業「法務

橋本 慎也先生 四年
原 輝智先生 五年
前田 利雄先生 教頭
後藤 善治先生 校長
宇田美佐子先生 一年
橋口 敬介先生 二年
後列右より
上村 郁子先生 事務
徳富久美子先生 養護
山下 幸子先生 三年
野崎由美子さん 庁務
新立利恵子先生 六年
山本 哲朗先生 教務

津奈木中学校

前列右より
上杉 経康先生 教務
千々岩英昭先生 三年主任
山本 茂夫先生 校長
三隅 駿二先生 教頭
園村 静夫先生 一年一組
中列右より
門崎 隆幸先生 二年主任
井上 進先生 二年一組

後列右より
船崎真理子先生 一年二組
徳尾恵里子先生 養護
松本 秀久先生 事務
高瀬 祐子先生 二年二組
柳迫マサ子さん 庁務
宮永 哲郎先生 三年一組
堺 圭一先生 三年二組



津奈木小
松村誠也教頭

またお世話になります

……。ぐるっとひと回りして元
に戻ったのですが、この間十年
が経ちました。また来られまし
たネ」と、親しく声をかけられる
と、昨日のことのように――十
年の歳月をとび越えてしまっ
たのですが、あの頃の中学生がPT
Aの役員だったりで、それはそ
れで嬉しいことです。
まだ御挨拶も出来ずにおしま
す。昔お世話になった方々、そ
のうちに、ゆっくりお会いした
いものです。
「あの頃は良かったですネ」と
話す人、ことに聞きます。もう一
度、力を合わせて素晴らしい子
供たちを育てましょう。



前津奈木小
鶴野慶昭校長

初夏のさわやかな風が心地よ
いこととなりました。皆様方へ
はますますご健勝のこととお慶
び申し上げます。
津奈木の子供たちは、力強く
伸びる秘めた力を持っておりま
す。この子供たちが、心豊かで
充実した学力を身につけた津奈
木っ子として、成長しますよう
願ってやみません。私も今後、
一町民として津奈木町教育の発
展を念じていきたいと思ひます。
意を尽くしますが、ここに改
めてお礼を申し上げて退任のご
挨拶いたします。

退任のあいさつ

さて、私こと、三月末をもち
まして三十九年の教職を退くこ
とになりました。特に最後の三
年間は郷里の津奈木小学校に勤
務させていただき、この上ない
幸せと、感謝の毎日でございま
した。
三年間に同働いたいた三六
名の先生方、それに保護者の方



津奈木中学校

津奈木小学校
児童数二八六名、職員二十一
今年度九名の転入生がありました
転入児が多いことは、町勢のあ
らわれでしょうか。
からは美しい海底と魚や海藻が見
えます。考える、仲よく、やりぬ
く」を目標に81名の児童と11名の
先生が楽しく勉強していますので
どうぞ遊びにおいで下さい。

今年は、校長、教頭が誓いまし
た、どんな学校に姿を現すか期待
してください。かしく、やさし
く、たくましく、この三つを合言
葉に力強く前進します。

赤崎小学校

私達の赤崎小は日本に一つしか
ない海上に建っている珍しい学校
です。円い窓から見える海はちょ
うど船の中にいる気分です。廊下
に努力中である。昨年度外装工事
により美しくなりました。本年は
内部充実を目指し、学力向上及び
情操教育を具体的に進めたい。

津奈木中学校

津南の地、三部塔の下で
「天には星、地には花、人には愛
を、やさしい心と、自ら進んで学
ぶ生徒、そして活気ある学校を目
標に生徒二三四名職員十四名朝夕
に努力中である。昨年度外装工事
により美しくなりました。本年は
内部充実を目指し、学力向上及び
情操教育を具体的に進めたい。

春の文化祭
四月十四、十五日の二日間、本
町中央公民館にて春の文化祭、エ
ビネ展が行われた。

会場にはエビネ愛好家二十八人
が丹精込めた二百二十鉢が展示さ
れ、会場一杯に甘い香りが漂い訪
れた人々の目を惹きつけていた。
主な入賞者は次の通り。
◇登録品◇金賞 古杉一都(霧
泉) 篠原純一(静) 山口敦二
(倉) ◇銀賞 永里安隆(織姫)
山本正雄(薩摩紅) 久村末喜千
代の姫)
◇無名◇金賞 永里安隆、篠原
純一、寺岡栄助、坂本光弘、村上
忠雄、鶴野富人、◇銀賞 山本正
雄、久村末喜、大淵助保、船場奎
吾、原田勤、諫山保澄。



平国小
前田利雄教頭

この度の異動で、水俣第一中
学校から、平国小学校に転任し
て参りました。以前、津奈木小
学校に七年間在職し、しかも津
奈木の町中に住んでいたことも
あって、ふるさとに帰ってきた
ような懐かしさでいっぱいです。
さて、私の勤務する平国小学
校は、今年度から来年度にかけ

て、勤労生産学習の研究推進校
として文部省の指定を受けまし
た。
自ら汗を流し、自然や生命に
感動を覚える人間性豊かな児童
を育てるため、前任校での経験
を生かして頑張りしたいと思います。

地域と共に、自ら汗を流そう

学校が益々活性化するため、
保護者、地域の方のご支援ご鞭
撻をよろしくお願い申し上げます。

地域をおこす人々(9)

婦人部活動に頑張る 農協婦人部、古中尾の山崎和子さん (61才)

牛肉、オレンジの自由化を一年後に控えた不安の中で、農業情勢は一段と厳しさを増しております。そこで私達農協婦人部は、農村婦人の幸せと、明るく豊かな家庭生活を願い、また健康で明るい地域づくりをするためにも農協をよりどころとして活動を致しております。農家といえども、他産業への就労が目立ち、婦人部員数の減少を見る中で、魅力ある活動をし、豊かな家庭にするために、私達は



流の場としております。朝市を始めまだ一年足らずですが、無農薬

読書感想文

「ひうちば」を読んで

平国小学校四年 野崎 理佳

さびしいな道をへいたたいさんが歩いていて、そのへいたたいさんは国へ帰るとちゅうでした。そのへいたたいさんはとてもびんぼうだから、わたしはかわいそうだなあと思いました。そして、まほうつかいのおばあさんがいて、へいたたいさんに、
「木のあなにはひうちばがあるから、持ってきておくれ。おまえがほしいだけ金を持っていていいから。」
と言いました。わたしはへいたたいさんはびんぼうだから、心の中ではうれしそうに気分だろうと思いをします。
木のあなには三つの部屋があります。どうかとぎんか金かの部屋があります。まほうつかいのおばあさんが、
「大目玉の犬が部屋の番をしていて、エプロンの上におろせばしずかになるよ。」
と言いました。だからわたしは、本当にしずかになるのかなと思いました。へいたたいさんはしずかして、こしになわをゆわえて、ほらあなからすべりおりてきました。わたしは、へいたたいさんはだいいじょうぶなのかなあとお心配になりました。でも、何もかもまほうつかいのおばあさんが言ったとおりでした。
地下室にはたくさんさんのランプがついていて、思ったほど暗くありません。わたしもへいたたいさんといっしょで、地下室は暗いと思いました。それでもへいたたいさんはおっかなびっくり、おくへ進んでいきました。へいたたいさんは、大



油彩 P.200号

1989年
坂本 寧



美しさとは、本来説明する性質のものではない。美は直接心の深く訴えてくる。
抽象の作品は、形と色と画肌から美そのものを訴える。この作品は、そのことを感じ取るのにふさわしい。
作品の前に立った時、美が訴える、神秘的な美が訴える。もう言葉はいらない。(T)

庁舎美術館(29)

町指定文化財

目鑑橋あれこれ

薩摩往還に架かる目鑑橋は、水俣からくると、瀬戸眼鏡橋、重盤岩眼鏡橋、寺前眼鏡橋の順である。架設年度順に並べると、
『中村懸目鑑橋』弘化二年(一八四五)『上門村懸有木目鑑橋』、『重盤岩眼鏡橋』嘉永二年(一八四九)『浜村目鑑橋』安政六年(一八五九)架設年度は分るが何処の橋かわからないもの。
萬延元年(一八六〇)二月から閏三月にかけて、津奈木村懸(大字津奈木)から石方手伝など連日



還筋有木と申す所谷川渡瀬あり、強雨の節に通路差支え、諸人大いに難渋仕り。(町在一七七七)見兼ねて目鑑橋架け方費用を医師山田清栄(山田功氏先祖)が差し出して造られた。
中村眼鏡橋
濱村目鑑橋も竹本寿七郎(竹本義任氏先祖)が費用を提出してできたものである。(町在一八五六)新村眼鏡橋(年度不詳)は、豊住秋恵氏の先祖が、趣味を兼ねて私設されたといわれる。
眼鏡橋は津奈木手永内の主要道路の各地に架けられ、住民はもとより旅人への恩恵は大きいものがあつた。近くに架橋材に適した石材が得られたこと、経済的余力を持っていたこと、最大の理由は、これら有効に活用することが出来た有能な政治家が津奈木に居たことに感謝せざるを得ない。

短歌

宮崎 優選

年毎に蠟梅の木は朽ちたれど紅牙えざえと匂いたち来る
ささやかな収入なれど内職の包み抱きゆく寒風の中
白浜 美和子
嬰兒の産ごえ部屋にこだまして小さき命の灯ともりけり
かそかなる声しきりして鳥籠に雛かえるらむ春たちにけり
西 滋子
北帰行海山越えて飛ぶ鶴をテレビに追えば列正しゆく
つれそいて旅せしことの少なきを懐いっぺアのセーターを干す
寺本 ツルヲ
春一番の風にあをられ白梅の池の水面に雪のごと散る
春空を飛行雲みゆゆるやかに東え東え流れゆくなり
福田 八重子
黄色なる花芽つけたる猫柳もとめし春の市めぐり来ぬ
車窓より久びさに見る春の海OB会え心ははやる
野田 浦子
遠き日に亡姑とひきたる石白は庭のかたすみ冬日けい
娘等は花束ケキ贈り来て吾が誕生日を心より祝う
柳迫 いづも
百才も生きんと思ふ日を好きな

肥後狂句

堀 双岳選

逃げろ、そらくま蜂が怒ったぞ
ぞろぞろ、子供ひきつれ里帰り
鳥居 雲波
逃げろ、野暮な親父が出てきよ
ぞろぞろ、親亀子亀の里帰り
柳迫 白波
逃げろ、親父のゲンコが落ちんう
ち
ぞろぞろ、タレント歌手の来らず
けな
林田 万葉
次笠
ひねくれて、青葉影。一笠二句宛
六月末迄、倉谷 堀 双岳へ。

今、気がつかなければ……

西川 京子

日本人がエコノミックアニマルと呼ばれるようになって久しくなっています。この傾向は、弱まるどころか、最近では、経済力にさらに大きな力をつけて、企業がどんどん海外に進出し、世界の国々の企業土地、建物を買いあさり、その国の地価をつりあげているといった問題まで引き起こしている状況のようです。歴史的な共産圏諸国の自由化の波の中で、今迄の、米・ソ対立を頂点とする東西緊張が緩んでいる時、日本のこうした行動は、世界からひんしゆくを買い、非難的となつていっているようで、日本は世界から孤立化してゆくような心配があります。このことは、

単に経済だけの問題にとどまらず、地球の存亡にまでかわつてきています。すなわち、経済発展と共に、日本は世界一の森林資源の消費国となり、東南アジアの熱帯雨林の伐採量のほとんどを輸入して余りにも、経済優先、利便さ優先

ます。このことは、大気汚染の問題と相まって、地球の温暖化という深刻な問題を引き起こしています。このことについて書き出すときりがありませんが、要するに、余りにも、経済優先、利便さ優先